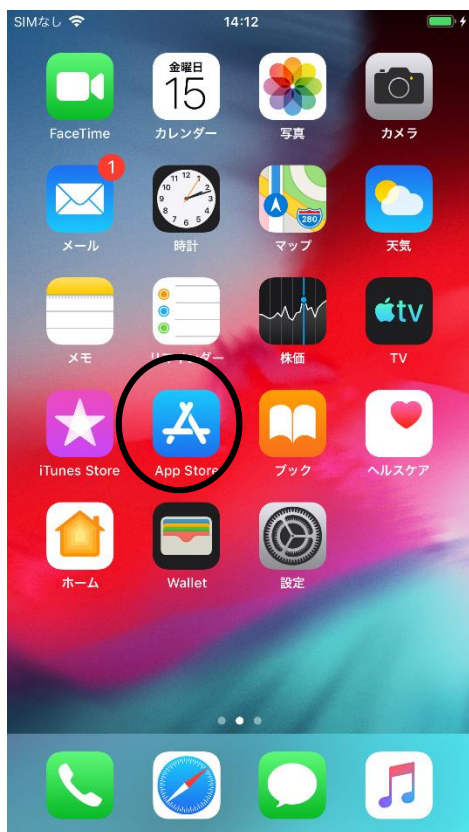
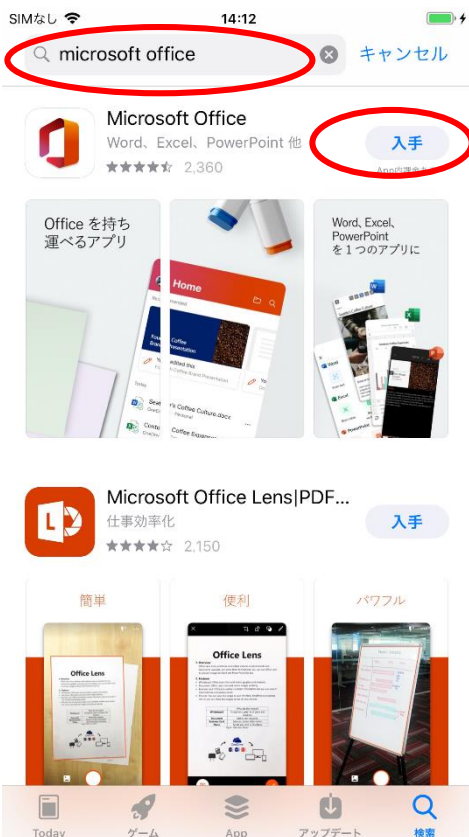


スマホへのOffice365追加について ～インストールからサインインまでの手順(iPhone用)～



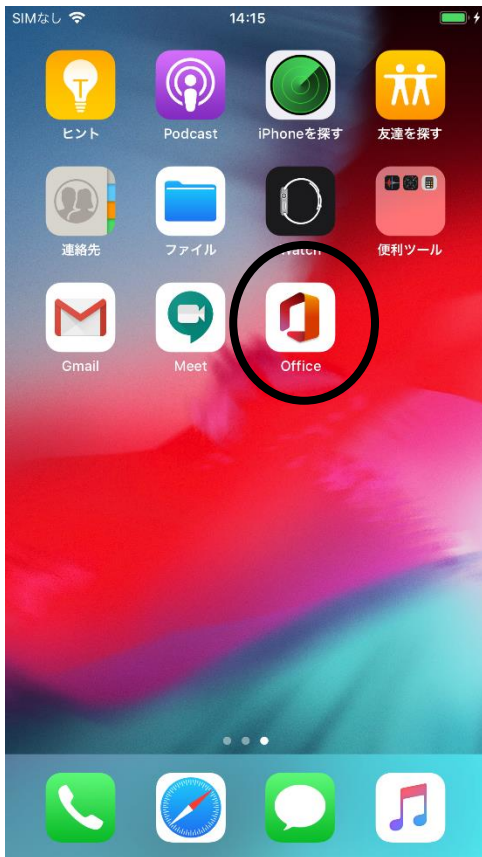
まず事前に、お持ちのパソコンでOffice365のインストールが終了している前提のマニュアルとなっています。初めてスマホでサインインをする場合、表示が若干異なりますのでご注意ください。

まず、iPhoneスマートフォンでの新規アプリインストールは、AppStoreから行います。

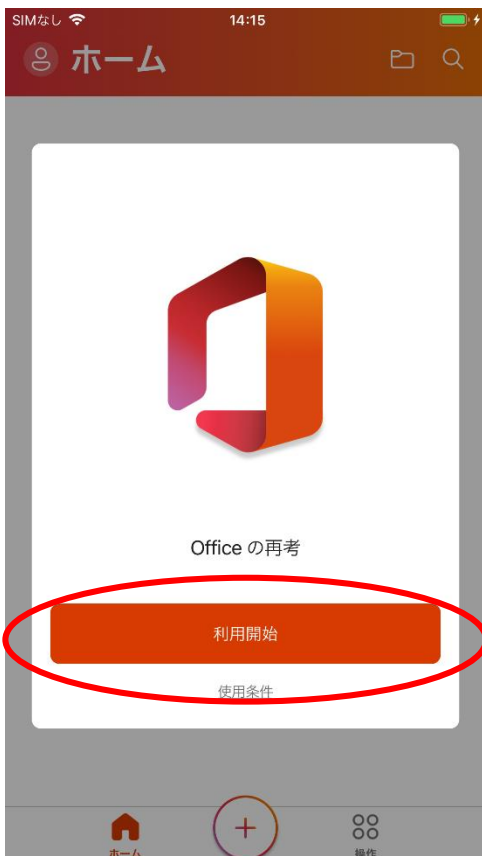


AppStoreの検索窓に「Microsoft Office」と入力すると、左の図のようにすぐに見つかるはずですが。

無事に見つけれられたら、「入手」をタップして、ダウンロードを行います。



インストールが完了すると、左図のように自動的にホーム画面にOfficeのアイコンが作成されます。



Officeのアプリをタップするとこのような画面が表示されるので「利用開始」をタップします。



このような画面が表示されますので「利用開始」をタップします。



続いて、このような画面が表示されますので、通知を有効にする場合は、「通知を有効にする」を選択します。

このような画面が表示されます。
「次へ」をタップします。



Microsoft はお客様のプライバシーの保護に努めています

データを Office に委ねる場合でも、そのデータの所有者はユーザーのままです。

Microsoft では、アプリがインストールされているデバイスで、アプリのセキュリティ、最新の状態、適切な動作を維持するために必須の診断データを収集しています。このデータは、これらのアプリの基本機能に関連していて、ユーザーの名前、ファイルの内容、Office とは無関係なアプリに関する情報は含まれません。

Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Visio、Office モバイル アプリのプライバシー設定が更新され、Microsoft が収集するデータとその使用方法を確認できるようになりました。内容を見てみましょう。

[詳細を表示](#)

次へ

続いて、このような画面が表示されます。この場合、特にオプションのデータを送信する必要はありませんので、「拒否」を選択すれば良いでしょう。



一緒に進捗する

Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Visio、Office モバイル アプリに関するオプションの診断データと利用状況データを Microsoft に送信していただくと、継続して改善を行うことができます。これらのデータには、ユーザーの名前、ファイルの内容、Office とは無関係なアプリに関する情報は含まれません。

Office に関するオプションのデータを Microsoft に送信しますか？

[詳細を表示](#)

承諾

拒否



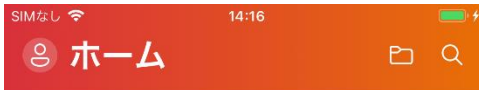
このような画面が表示されますので「OK」をタップします。

エクスペリエンスの強化

Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Visio、Office モバイル アプリには、Office.com からダウンロード可能なテンプレート、選択したユーザーとファイルを共有するためのファイル ストレージなど、オンライン サービスに接続する環境が含まれています。これらのエクスペリエンスを使用する場合、サービスの診断データが収集されます。また、これらのサービスの中には、ユーザー コンテンツを分析して候補やお勧めを提供するものもあります。

これらのプライバシー設定を調整するには、[プライバシー設定](#)を開きます。

[詳細を表示](#)

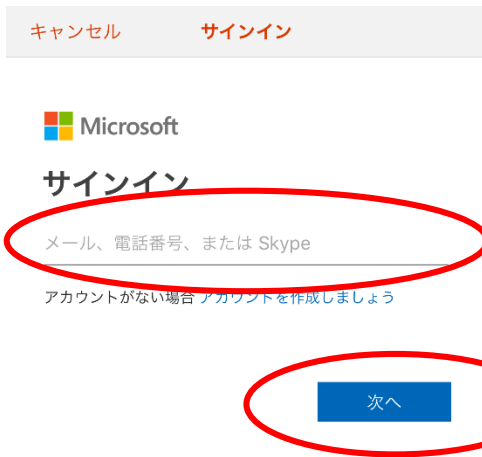


Officeの最初の設定です。自身のアカウントを設定しますので「サインイン」をタップします。

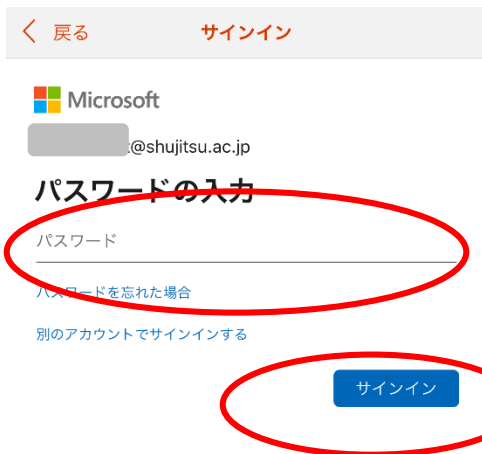


最近使ったドキュメントを表示するには、サインインしてください。



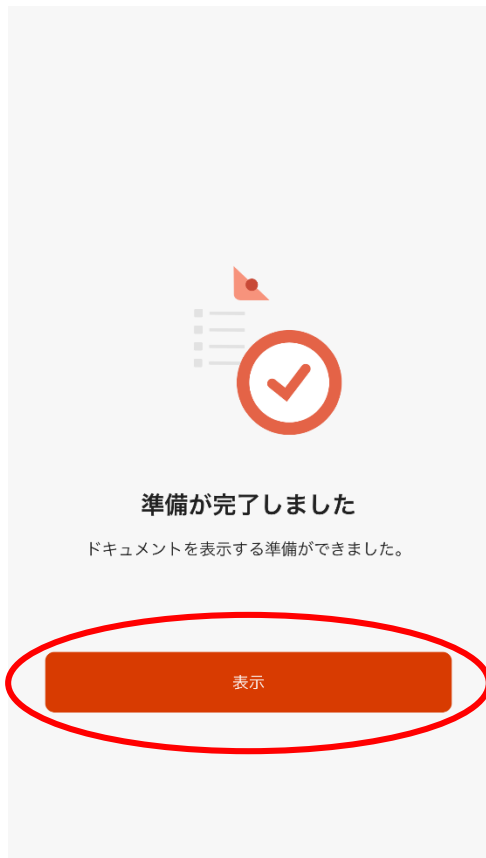


サインイン画面が表示されますので、自身のメールアドレス「xxxxxxxx@shujitsu.ac.jp」を入力し、「次へ」をタップします。



Office365で設定したパスワードを入力し、サインインをタップします。

準備が完了しましたの画面が表示されますので、「表示」をタップします。



以上で、終了です。
お疲れ様でした。

